

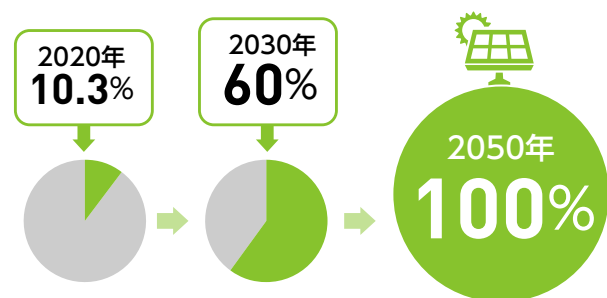
カーボンニュートラルの実現 → 再生可能エネルギー100%を目指して 特集:TCFD提言に沿った情報開示

再生可能エネルギー100%を目指して

JFRグループが排出するScope1・2温室効果ガスの約80%は、店舗での電力の使用による排出です。当社グループは、温室効果ガス排出量削減に向けて、計画的なエネルギー施策を実施し、2050年までに、事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー100%化を目指します。

再生可能エネルギーシェア拡大

RE100達成に向けたロードマップ(再生可能エネルギー比率)



当社グループは、2019年度から、主要な店舗やオフィスの再生可能エネルギーへの切り替えを計画的に進めています。その結果、2020年度再生可能エネルギー比率は10.3%となり、2019年度と比較して6.3%向上しています。

また、当社グループは、2020年10月、「RE100(100% Renewable Electricity)※」に加盟し、2050年までに事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにするという目標を設定しました。また、中間目標として、2030年度までに再生可能エネルギー比率60%と設定し

ています。

今後も、当社グループは、大丸松坂屋百貨店やパルコの店舗を中心に、再生可能エネルギーへの切り替えを強化し、RE100達成を目指します。

※2050年までに、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的イニシアチブ



着実に進む店舗の再生可能エネルギー化

心斎橋PARCOは、2020年11月、館内で使用する電力の100%を再生可能エネルギーとする店舗としてグランドオープンしました。再生可能エネルギー100%で先行オープンした大丸心斎橋店とともに、当社グループのESGモデル店舗としての役割を果たしています。

また、2021年度には、広島PARCOや福岡PARCOにおいても100%再生可能エネルギーに切り替えており、当社グループにおける店舗の再生可能エネルギー化は着

実に進んでいます。

店舗の再生可能エネルギー化は、店舗の価値を向上させ、環境課題に敏感なお客様やお取引先様からの支持獲得につながると考えています。

パルコで初となる再生可能エネルギー100%使用の店舗 心斎橋PARCO

